

運送業の労災、とにかく多い、「転落・挟まれ」

運転手 積み降し作業時、荷台から転落事故多発

◇見直そう 「慣れ」の作業◇

◇冬道の事故防止 追突事故の防止◇

～先を読み キケン回避 これぞプロ～

○ 吹雪の時には、雪煙の中に乗用車がいる

- ・トラックは運転席が高いので先が見える
- ・乗用車は運転席が低いので見えない
- ・前が見えない乗用車は減速をする ☞ トラックも減速をしないと追突する！

○ 右左折時のスリップ事故多発！ 交差点付近は、そもそも滑りやすい！

- ・右左折時は『徐行』が基本 ☞ ブレーキ&ハンドルの『同時操作』は厳禁
～交差点手前でしっかり減速を！～
- ・横断歩行者がいたら、どうする！ ☞ 雪山などで死角が多い
～やはり、交差点手前でしっかり減速を！～

○ 前の車がスリップしても、巻き込まれない『車間距離』を！

自分が滑る = 周りの車も滑る ☞ 危険に自ら近づかない！

- 交差点の手前付近は…スリップしやすい
- 橋の上付近は…スリップしやすい
- 山間部、カーブは…スリップしやすい
- トンネルの出入り口は…スリップしやすい

◇構内事故の根絶◇

～して安心 しないで後悔 安全確認～

- 慣れ、油断からの、「不確認」をなくす！
- ミラーだけでなく、「自分の目」で確認！
- 出構時は、歩道手前で「一時停止」、安全確認！

- ※ 「バック確認OK！」
- ※ 「交差点確認OK！」
- ※ 「積み降ろし確認OK！」

夜6時 大型トラックと正面衝突 軽乗用車の大学生重体

2021/1/29(金) 10:36

28日午後6時25分ごろ、徳島県の県道で、男子大学生（19）の軽乗用車と男性会社員（62）の大型トラックが正面衝突した。男子大学生は病院に搬送されたが、頭などを強く打ち意識不明の重体。警察によると、現場は見通しの良い直線の堤防道路。

夜9時 軽自動車電柱に衝突、横転

2021/1/28(木) 12:30

27日午後8時50分頃、鹿児島県の市道で「軽自動車が電柱に衝突して横転した」と通行人から消防に通報があった。消防によると、軽自動車には運転手1人が乗っていたが事故直後、意識があり自力で逃げ出したということで、ケガはないという。現場は住宅街に囲まれた車通りの多い道路で、午後9時ごろから1時間半ほど全面通行止めとなった。

酒気帯び運転で、追突事故 基準の3倍超のアルコール検出で逮捕

2021/1/28(木) 9:12

27日午後7時前、函館市で男（72）が運転していた軽自動車が前方の軽自動車に追突しました。警察官が男と話したところ、強い酒の臭いがしました。検査の結果、基準値の3倍を超えるアルコールの数値が検出されたため、警察は酒気帯び運転の疑いで男をその場で逮捕しました。追突された軽自動車を運転していた女性は、体の痛みを訴えたものの、病院に行くほどの状態ではなかったということです。警察は男がどこで、どれくらいの酒を飲んでいたのかなど裏付けを進めています。

除雪機の誤使用にご注意 死亡事故、10年で19件

2021/1/28(木) 12:03

製品評価技術基盤機構（NITE）は28日、豪雪地帯を中心に、除雪機の誤使用などによる死亡事故が2010年4月から10年間で19件に上ったと明らかにした。安全装置を無効にしていたケースや、雪詰まりの除去作業でけがをする事故が多いとして、注意を呼び掛けた。NITEによると、安全装置「デッドマンクラッチ」をハンドルと一緒に握るタイプの除雪機では、クラッチをテープなどで固定していたために、転倒時、除雪機が停止せず、下敷きになる事故があった。エンジンを切らずに内部の雪詰まりを除こうとして、回転刃に手を巻き込まれたケースも多く「雪かき棒を使用するように」と求めた。